

\*\*\*\*\*  
NPO法人科学技術者フォーラムH21年7月度セミナー（第87回）のご案内  
\*\*\*\*\*

— 食の安全・食糧確保に向けて —

「植物医師の養成と植物病院ネットワークの展開」

講師：東京大学 大学院農学生命科学研究科教授 農学博士 難波成任 氏

植物の病気によって、世界の食糧生産の3分の1が失われており、それは飢餓人口を養う量に相当します。国内で分かっているだけでも2万種以上といわれている植物病（病害＋虫害＋生理病＋雑草害）を防除して食の安全と食糧を確保するためには専門家の養成とそれぞれの専門家がネットワークを組み、一体となって対処してゆく態勢の確立が急がれています。上記のような課題のほか、植物の輸出入に関する植物検疫、樹木医学、さらには家庭園芸や都市緑化などによる健康で快適な国民生活と環境の保全の研究など広い領域をカバーする総合的なテクノロジーとして注目されている「植物医科学」の分野で最先端の重責を担っておられる東京大学の難波教授にお話を伺います。

1. 日時：平成21年7月8日（水）14時～16時50分

講演終了後近くの会場で懇親会開催（19時頃まで）

2. 会場：品川区立総合区民会館「きゅりあん」5F第4講習室（定員54名）

（JR大井町駅中央改札を出て直進、ヤマダ電気裏側）

地図：<http://www.shinagawa-culture.or.jp/curian/>

3. 講演要旨

我が国の食料・農業・農村を取り巻く国際情勢は、近年一層のグローバル化が進行し、植物の輸出入の増大に伴い、植物病（病害・虫害など）を検疫する業務が拡大する一方で、食の安全確保や、環境保全型農業への転換に伴い、国内の検疫業務も増大しており、専門家養成は急務である。また、地球温暖化など環境問題がクローズアップされるなか、都市緑化や屋上緑化に注目が集まっている。

ストレスに満ちた現代社会を反映し、癒しの植物や園芸療法の効果にも期待が高まっている。植物の用途・効用の多様化にともない「植物病を診断・治療・防除・予防するシステム」の確立が求められている。このような、臨床システム構築をミッションとする植物病理学・害虫学・線虫学・農薬学・植物生理病学・雑草学など、診断・治療・防除・予防に深く関わる既存の学問分野に加え、植物を核にした環境再生や園芸療法までも融合化した新たな学問分野「植物医科学」に期待が集まっている。「植物医科学」では、従来の伝統的な技法に加え、分子生物学的技法や先端的機器分析技法などを活用し、新たな技術の開

発を行う。

また、植物に発生する植物病を効率的に診断・治療・防除・予防する専門家の「植物医師」やその指導者を養成するほか、専門家のスキルアップも重要なミッションの一つとなる。併行して、一般市民に対する啓発活動を通じ、植物病発生リスクの重要性に関する認識を高め、植物病の発生や蔓延抑止につなげる。

2006年、池田理化寄付講座「植物医科学研究室」が東大に開設された。昨年、植物病院も東大に開設され、一般園芸愛好家や企業から大きなニーズがある。種苗会社や農業資材関連会社などの期待も高く、「専門知識を持った学生なのですぐにでも欲しい」という声も多い。養成した植物医師らが、企業や研究機関で活躍することが期待される。

#### 4. 講師紹介

・講師のお名前：難波成任（なんばしげとう）

・講師略歴

1953年、東京都生まれ。東京大学農学部農業生物学科卒業、東京大学大学院農学系研究科修士課程・博士課程修了の後同大学助手、米国コーネル大学客員研究員、東京大学農学部助教授、教授。同大学大学院新領域創成科学研究科教授、農学生命科学研究科教授を歴任。総長補佐を併任。現在総長特任補佐を併任。植物病原ウイルスおよびファイトプラズマの宿主ならびに病原性決定の分子機構の解明と耐性戦略の構築を目指して研究している。

日本植物病理学会奨励賞、学会賞、日本マイコプラズマ学会賞授賞各種学会役員のほか、文部科学省 大学設置・学校法人審議会専門委員会委員 主査、科学技術・学術審議会専門委員。財務省 独立行政法人評価委員会委員 部会長。農林水産省 農林水産技術会議専門委員・副座長、農林水産祭中央審査委員 主査、高度化事業専門評価委員。農林水産省・環境省 生物多様性影響評価検討会委員、(社)大日本農会 農芸委員（2006.6～）など。

#### 5. 参加費会場でお支払いください。

・科学技術者フォーラム（STF）正会員 1,000 円

・BCC-NET 会員、FINE 会員、経営支援NPOクラブ、異普奇会会員、もったいない学会会員、いのちと環境保全交流会会員 1,500 円

・学生、女性 1,000 円

・一般（上記以外） 2,000 円

\*講演中の写真撮影などは、ご遠慮願います。

#### 6. 参加申込み：下記の申込み書に記入してセミナー担当の児山豊宛メール又はFAXでお申込ください。

児山 豊 TEL, FAX : 03-3847-8336

E-mail: y.koyama@4306.bell-net.ne.jp

\*\*\*\*\* セミナー参加申し込み \*\*\*\*\*

<科学技術者フォーラム（STF）平成21年7月度セミナー（第87回）>

参加申込書>

●お名前：（ふりがな： ）

●所属（会社，事務所、団体）：

●メールアドレス：

●TEL：FAX：

●参加区分：科学技術者フォーラム（STF）正会員、BCC会員、FINE会員、

経営支援NPOクラブ会員、異普奇会会員、もったいない学会会員、

いのちと環境保全交流会、学生、一般（紹介者： ）

\*該当を○で囲んでください

●懇親会：参加不参加（いずれか残す）

●領収書（講演会）の必要有無：有無

\*\*\*\*\*